

令和 3 年度目標設定シート

建設部

部目標	「みんなが住み続けたいと思えるまち」を基本理念に、京田辺に住む人の生活の質を向上させ、時代の変化に対応した新たな都市づくりを進めるため、建設部門の果たすべき役割を適切に執行管理する。
課	目標
建設政策推進室	建設部政策・事業の進行管理、事務改善、研修の充実等 道路網整備に関する要望及び交通対策の推進 治水対策に関する要望及び推進 入札制度の検討、入札契約事務の適正な執行 市施行工事等の調整及び設計審査、検査
計画交通課	本年度施政方針に基づく取組 (1) 都市計画マスターPLAN改定事業 (2) バス交通等活性化事業 重点的取組 (1) 屋外広告物許可期間更新事業 (2) 産業系土地利用誘導事業 (3) 駐輪場管理適正化事業 (4) 交通安全対策事業
開発指導課	民間木造住宅耐震化、民間ブロック塀等撤去促進等 空家等対策の促進、ソリデール事業の推進 市営住宅の適正な管理 受託建築業務等の確実な実施 開発行為等に係る適正な指導 未利用地の適正な土地利用の誘導
都市整備課	道路整備事業の推進 排水困難地対策事業の実施 パリアフリー化事業及び交通安全対策事業の推進 その他継続事業等の推進
施設管理課	公共土木施設の安全な利用を確保する。 道路、橋梁等公共土木施設の維持修繕及びこれに係る改良事業 公共土木施設の適正な管理、指導を行う。
公園緑地課	緑や水辺の空間を活かした市民が心癒やされる「緑に包まれた環境に優しいまちづくり」を推進し、市民生活を豊かにする。 1. 緑化啓発事業、緑あふれる環境づくりを推進 2. 散策やウォーキングを楽しめる水辺の散策路環境整備事業を推進 3. 市民が交流する「緑」の拠点として、田辺公園の拡張整備事業を推進

課名	事業名	事業概要	今年度の目標	指標			指標設定の考え方
					単位	目標値	
開発指導課	住宅耐震化等促進事業	木造住宅耐震診断士派遣、耐震改修費補助及びブロック塀などの撤去費補助事業の実施	京田辺市建築物耐震改修促進計画や京田辺市住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに基づき、広報の活用や戸別訪問、耐震フォーラムの開催、（仮称）京田辺市民まつりの耐震ブースにて事業の啓発等を実施する。	耐震診断士派遣	件	15	過去5年間の実績に基づき、国費分配数以上の件数を目指す。
				耐震改修費補助	件	15	過去5年間の実績に基づき、国費分配数以上の件数を目指す。
				ブロック塀等撤去費補助	件	10	過去5年間の実績に基づき、国費分配数以上の件数を目指す。
施設管理課	橋梁長寿命化修繕・耐震補強事業	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の補修工事を行うとともに、跨道橋及び跨線橋について、耐震補強及び落橋防止対策を行うことにより、道路交通の安全を確保し、また維持管理経費を節減	今後、老朽化する橋梁数の増大に対応するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき予防的な修繕を行い道路交通の安全を確保する。	補修工事橋梁数	橋	1	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、目標を設定。
建設政策推進室	内水排除対策等促進事業	木津川の堤防補強、防賀川の改修、天津神川の拡幅、馬坂川の切下げなどの河川整備や、新西浜樋門の整備、飯岡久保田樋門への強制排水ポンプ設置などの内水排除対策に関する、国・京都府など関係機関への要望及び協議	天井川の切下げ改修や断面拡幅などによる河川整備、樋門改修や強制排水施設の整備による内水排除対策を促進するため、関係機関への要望活動を実施する。	関係機関への要望活動の実施	—	実施	京都府知事要望、木津川治水会要望（国）を実施する。
				関係機関の協議	—	実施	府庁及び山城北土木事務所、淀川河川事務所との協議を実施する。
都市整備課	河川改修事業	水害からの安全性の確保に向けて、安全・安心のまちづくりの骨格をなす都市基盤施設である小河川（吉原川）についての整備改修	吉原川河川改修に向けた取組の実施。	改修延長L=470m	m	0	R6までに、吉原川の整備延長（270m）の完了を目指す。
都市整備課	排水路整備事業	安心して暮らせる住環境整備として、近年の豪雨に対応するため、草内美泥、興戸地区などの排水路を整備	草内美泥排水路整備工事の実施。	草内美泥排水路整備延長（総延長：約1200m）	m	992	R5までに、草内美泥排水路整備延長（総延長：約1200m）の完了を目指す。
計画交通課	交通安全対策事業	交通安全啓発事業の推進、啓発看板などの作成、警察や関係行政機関と連携した交通安全対策の実施。また、公共交通の利用促進や道路交通などの安全性向上に向けた市民の自主的な取組みへの支援	交通安全啓発事業の推進：駅前及び市内の幼稚園・保育所に向けて交通安全啓発物品を配布する。 公共交通の利用促進：啓発リーフレット作成や出前講座等を開催し、公共交通の利用促進を図る。	交通安全啓発物品の配布	人	1,000	令和元年度実績(1,000人)と同水準の配布を目指す。
				出前講座等による区・自治会等主催事業への支援	回	1	公共交通の利用促進について、継続して出前講座を実施する。
公園緑地課	田辺公園拡張整備事業	子どもから高齢者、障がいのある人まで全ての市民が交流できる拠点として、また障がいのある人が公園の管理や運営に携わることで、社会的自立を支援する拠点となる農福連携をテーマとした公園の整備	Park-PFI参画に前向きな事業者に対し、マーケットサウンディングを実施し、R4年度に予定する事業者公募に向けた仕様書等資料を作成する。調整池設置に向けた設計業務委託及び工事、埋蔵文化財発掘調査を行う。	マーケットサウンディングの実施回数	回数	3	R4年度に予定する事業者公募に向けた仕様書作成をするための、マーケットサウンディング実施を目指す。

課名	事業名	事業概要	今年度の目標	指標			指標設定の考え方
					単位	目標値	
公園緑地課	公園施設長寿命化対策事業	公園施設長寿命化対策計画に基づき、公園施設の更新を適正な時期に行い、施設を長寿命化することで維持管理費のコストを縮減	公園施設長寿命化計画に基づき遊具更新工事を行う。	長寿命化対策完了施設数	施設数	71	公園施設長寿命化計画（H25）に基づき、目標を設定。
公園緑地課	水辺の散策路環境整備事業	緑を楽しみ水辺に憩いながら、ウォーキングを通じた健康づくりが広がるように水辺の散策路の環境整備を推進	案内看板設置、ベンチ・標柱設置を設置する。関係部局と連携してウォーキングイベントを実施する。多くの市民に知ってもらうため、広報等で周知を図る。	標柱設置数	箇所	6	2ルートで6箇所設置を目指す。
公園緑地課	緑化推進事業	公共緑地の保全と緑化意識の啓発やコミュニティぐるみの緑化に関する取組み（市民記念植樹祭、誕生記念樹配布など）を促進するとともに、適正な維持管理手法を検討	新型コロナウイルス感染状況を踏まえつつも、緑化まつりの実施方法を検討し、市民への緑化推進の啓発を図る。市民記念植樹祭の植樹場所を確保し、継続した植樹活動を推進する。誕生記念樹の配布にあたり、ハガキ送付数に対する配布の割合を増加させる。	緑化まつり参加者数	人	2,000	過去の実績（R1:1,500人）からの増加を目指す。
				誕生記念樹配布数	人	200	市内出生数（約7～800人）の3割程度の配布を目指す。
公園緑地課	生垣設置奨励補助事業	道路、公共施設や公益施設などに面して設置される生垣の設置費用を助成	ブロック埠撤去補助と連携し、生垣設置奨励補助件数の増加を目指す。	生垣設置数/年	件	10	過去の最大実績（10件）を目指す。
公園緑地課	すてきなまちなみ支援事業	市民協働による公共施設の維持管理を推進	公共施設の維持管理を推進するとともに、公園・緑地・道路の環境改善と活動に伴う市民交流を促進させる。	すてきなまちなみ支援事業支援団体数（公園・緑地）	団体	5	過去の実績をもとに、継続実施をする。
				すてきなまちなみ支援事業支援団体数（道路）	団体	4	過去の実績をもとに、継続実施をする。
計画交通課	都市計画推進事業	都市計画マスターplan及び立地適正化計画の進捗管理。地区計画による優良な市街地環境の保持及び美観上の配慮を実施	京田辺市総合計画や本市を取り巻く社会経済情勢等の変化を踏まえたまちづくりの具体性ある将来ビジョンを示すため、都市計画に関する基本方針（都市マスターplan）の見直しを行う。なお、本事業はコロナウイルスの影響により、令和2年度事業目標が達成できなかったことから、引き続き行うものである。 合理的な行政施策を推進する役割を担う都市計画基図（1/2500）を、令和2年度に京都府が撮影した航空写真測量成果を用いて経年変化箇所の地形等を修正し、本市都市計画基図等データの更新と各種地形図等の印刷図作成等を本年度に行う。	居住誘導区域内の人口密度	人/ha	74	立地適正化計画に基づき、国勢調査の結果を基に算出した実績値と同程度の目標を設定。
建設政策推進室	幹線道路整備促進事業	京奈と自動車道4車線化、国道307号線改良、都市計画道路松井大住線（府道八幡木津線）、三山木普賢寺線（府道生駒井手線）整備などの国、府など関係機関への要望及び協議、並びに市北部地域の交通混雑の解消に向けた新たな道路ネットワーク整備の検討	市の産業活力軸となる広域幹線道路や都市の骨格を形成する幹線道路の整備を促進するとともに、集落間や主要道路との接続道路の整備を進め、道路ネットワークの強化に努めるため、関係機関への要望活動を実施する。	関係機関への要望活動の実施	—	実施	京都府知事要望、国道307号促進協要望（府）、府高速協要望（東京）の実施を目指す。
				関係機関との協議	—	協議	府庁及び山城北土木事務所（松井大住線、国道307号）との協議を実施する。

課名	事業名	事業概要	今年度の目標	指標			指標設定の考え方
					単位	目標値	
都市整備課	幹線道路整備事業	都市計画道路大住草内線測量設計など、幹線道路網の整備	大住草内線道路整備に向けた概略設計業務を実施	事業費進捗率	%	2.8	大住草内線整備の進捗について、事業予算ベースで設定。
都市整備課	道路改良事業	集落間や主要道路との接続道路（町田宮ノ前線、鳥羽田浅池線など）の整備	長尾谷大欠線道路改良工事の実施（R3） 閑屋長尾線道路改良工事の実施（R2線越・R3）	令和3年度完了予定（2路線）	%	100	長尾谷大欠線と閑屋長尾線の整備完了を目指す。
施設管理課	舗装維持修繕事業	舗装修繕計画に基づき、計画的かつ効率的な舗装修繕工事を行うことにより、道路利用者の安全で快適な通行を確保し、また、道路維持管理費を節減	舗装修繕計画、生活道路舗装修繕計画に基づき舗装修繕を行い、道路交通の安全を確保する。（幹線・準幹線市道・その他生活道路）	舗装修繕路線数	線	9	道路舗装修繕計画等に基づき、舗装修繕を実施する。
計画交通課	地域公共交通計画策定事業	まちづくりと連携した持続可能な地域公共交通ネットワークの形成事業。地域公共交通活性化協議会の設置、計画の策定、計画に基づく進捗管理	新型コロナウイルス感染症拡大によって厳しい経営状況が続く各公共交通事業者に対してニーズに応じた支援を実施しながら、コロナ収束後の協議会開催に向けた個々の課題を検討する部会を開催し、地域公共交通計画の骨格となる柱を検討する。	地域公共交通計画策定	—	策定準備	R3に公共交通計画の骨格を検討し、R4に策定に着手する。
計画交通課	放置自転車対策事業	自転車等放置禁止区域の啓発及び放置自転車の整理、撤去などを実施するとともに、駐輪場の利用適正化についての取組みを進め、公共の場所における自転車などの駐車秩序を確立	京田辺市無料自転車駐車場条例の施行（10月）に向け、周知・啓発を行う。	撤去自転車等台数の減少	台	500	H3.0の実績（599台）を元に、毎年度段階的に減らすこととし、対前年比50台程度の減少を目指す。
計画交通課	バリアフリー基本構想推進事業	バリアフリー基本構想重点整備地区の整備進捗率の把握。京田辺市バリアフリー基本構想推進市民会議の開催。「心のバリアフリー」啓発活動	バリアフリー基本構想（田辺地区）に基づく重点整備地区的バリアフリ化の進捗管理を行いながら、ハード面の整備は大規模な改修を伴うものに限られてきたことから、今後はソフト面を重視した「心のバリアフリー」施策を重点的に展開することですべての人が相互に支え合うまちづくりを目指す。	心のバリアフリー啓発活動	回	3	心のバリアフリーに重点を置き、過去の実績（3回）と同水準の実施を目指す。
都市整備課	バリアフリー基本構想整備事業	高齢者や障がいのある人などすべての人に安全・安心な歩行空間を確保するため、段差解消や視覚障がい者誘導用ブロックなどを整備	バリアフリー基本構想に基づく生活関連経路の整備工事の実施。	整備延長（総延長：約4200m）	m	3,020	バリアフリー基本構想に基づき整備を進める。

課名	事業名	事業概要	今年度の目標	指標			指標設定の考え方
					単位	目標値	
開発指導課	空家等対策事業	住宅のライフサイクルに応じた空家等対策（空家に関する相談会、除却・改修補助など）の実施。若者（大学生など）と高齢者が同居し交流するソリテール事業の実施	京田辺市空家等対策計画に基づき、年2回の相談会開催、京田辺ソリテール事業啓発や家賃、改修補助制度等を実施する。	相談会の開催	回	2	前年度（2回）と同水準の実施を目指す。
				若者（大学生等）と高齢者のマッチング	組	1	ソリテール事業のマッチング成立を目指す。
開発指導課	市営住宅長寿命化改修等事業	市営住宅長寿命化計画に基づき、市営住宅の長寿命化などの整備事業を実施	市営住宅長寿命化計画に基づき、設計や工事を実施する。	市営住宅長寿命化改善率	%	75	市営住宅長寿命化計画に基づいて、改修を進める。（全戸数231戸のうち工事が完了した住戸の割合）